

さくらやま便り



No.375号 2025年（令和7年）12月15日

『雪よりも白くし給つ神』

チャップレン 上前 至

今年もクリスマスが近づいてきました。クリスマスと言えばサンタさんがトナカイに乗って子供達にプレゼントを持って来てくれるという楽しい出来事を思い出す時もあります。

特に子供の頃は、クリスマスの翌朝に、今年は自分の枕元にどんなプレゼントが置かれているのだろうかと想像するのが楽しみでした。

そんなクリスマスは、私にとっては楽しい思い出がよみがえる日でもあるのですが、そんな時に、いつも私の脳裏によみがえてくるふたつの風景についてお話しします。

ひとつは、今から60年前のことです。私の故郷は、京都に近い丹波篠山市にある黒岡村です。今も、そうですが、篠山は人里離れた、まわりは畠とたんぽばかりという田舎の中の田舎といわれるような場所でした。私は、その岡部村で小学校6年生になるまで育ちました。

戦後間もないころ、そのような田舎で5人の子供を育て、食べさせていくのは両親にとって大変な事であったと思います。

そのころ、杜氏（とうじ）と書いて、冬の間だけ、

農家の仕事も暇になることから、男たちが阪神地区の灘にでかけ、酒造りの出稼ぎに出て行くという習慣がありました。父もそれにならって仕事を求めて阪神地区に出ていったのです。

その後、神様は、こんな私を牧師へと召し、更にその道を深めていくためにも、アメリカやカナダでの学び、経験を得させられたのです。

今まで多くの場所に移り住んで、気が付くと25回も

幸い、父は美術専門学校（現、武蔵野美大）を出ていたことから、中学校の美術教師の職を得る「ことができました。



とにかく、そうしたことから、我が家は阪神の西宮に居をかまえ、私は高校を出るまで、そこで過ごすことにになりました。そして、そのこと

が私にとって大きな人生の転機となつたのです。

というのも、何も知らない田舎から出てきて、大都会の西宮に住み、いわゆる「団塊の世代」といわれる、大勢の生徒たちによる競争に明け暮れる日々が始まり、私はその中で登校拒否生になってしまったのです。

す。

しかし、私の本当の悩みは「競争」そのものではなく、それから派生する「人は何のために生きるのか」という問いの答えを見出せなかつたこと、また、その答えを誰も教えてくれなかつたことでした。

そのような中、姉から紹介されたのが、近くのキリスト教会でした。そして、やがて、その教えに捕らえ

られて、いった私は、「人は何のために生きるのか」という人生の問いに対する答えを聖書の中に発見し、それを私の一生の生き方にしていく道を歩んでいくことになつたのです。

その後、神様は、こんな私を牧師へと召し、更にその道を深めていくためにも、アメリカやカナダでの学び、経験を得させられたのです。

今まで多くの場所に移り住んで、気が付くと25回も

その後、私は、48才の時に福祉

職に転じ、現在に至ります。この

職に転じてからは、今までとは全

く逆に、一ヶ所に長く留まる」と

になりました。



もうひとつ風景は、黒岡村で

のある12月の寒い朝の出来事で

す。私が住んでいた家の窓は、ガ

ラスではなくすべて障子でした。

その障子窓の外がいつもと違つ

て、明るく輝いて見えたのです。

私は「どうしたのだろう」と思つて障子窓をいっぱい

に開けると、そこには、一面、雪で覆われた銀世界が

広がつていたのです。そのときに味わつたあの、真っ

白な雪の世界の美しさを、私はクリスマスを迎えるた

びに思い出すのです。

イエス・キリストを受け入れてクリスチヤンとなつ

たいま、あの頃の景色に思いを馳せながら、ある聖書

の言葉を思い出します。

「（7節）わたしは咎のうちに産み落とされ 母がわ

たしを身にもつたときも わたしは罪のうちにあつた

のです。（9節）ヒンプの枝でわたしの罪を払つてくだ

さい わたしが清くなるように。わたしを洗つてくだ

さい 雪よりも白くなるように」

（詩篇51篇7節、9節）新共同訳

クリスマスの時期に自分の人生を振り返るとき、真

つ黒だった私の心の中の罪を、雪よりも白くしてください

さる神様を知っている事を私は心から感謝いたしま

す。

ちょこっとニュース

主任 池原雅彦

行事予定

12月23日 歌声サロン

12月25日 クリスマスディナー

12月31日 年越しそば

1月1日 元日 祝い膳

1月13日 歌声サロン

「落語と浪曲の会」

1月10日（土）旭区民文化センターサンハートにて、行かれます。詳細は1階自動販売機前の掲示板を「」覗ください。

◎ボランティアさん紹介

・12月から館内のお掃除をしていただいています。



上前恵美子と申します。
毎週、火曜日と水曜日の午前中にボランティアをさせていただくことになりました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

●（再）体調に気をつけてください

現在、横浜市内ではインフルエンザ流行警報が出ています。栄養を摂り、十分な睡眠時間を確保し、外出後には手洗い・手指消毒をお願い致します。少しでも体調の変化や熱などがあれば受診されるか、コロナ・インフルエンザ簡易キット（実費）がありますので、事務所までお声かけください。

●つぶやき

寒くなつて、運動がおろそかになつてきました。時々、部屋の中でユーチューブを見ながら、体を動かすと、体の内側から暖かくなり、「また、やろう」と気持ちが前向きになりますが、別の日に運動しようとユーチューブを開くと、運動はそつちのけで、面白そうな動画に時間がつぶれていくのです。寒さとユーチューブに負けない冬を過ごしたい…と思つ今日この頃。（池原）

生活相談員から

絵 吉田和子



「水ひき草」山野に自生するタデ科の多年草。里や町中でも見られ、赤色の小花をまばらに穂状につけ、水ひきに見立てた。

今が旬の柚子



ケアハウスでは年に一度、
柚子風呂を実施しています！